

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：八幡市

プロジェクト名	お茶の京都・八幡推進プロジェクト ～京都やましろ再発見～		実施期間	平成28年度	テーマ	観光	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	山城地域は、日本茶のふるさととして、抹茶、煎茶、玉露を生みだし、その歴史と独特の風土が織りなす美しい茶畑景観や、地域に根ざしたお茶の文化が形成され、日本のお茶の文化や産業をリードしてきたが、消費の減少や生産者の高齢化など、お茶の文化や産業の衰退にもつながる課題が顕在化してきており、これまで育まれてきた宇治茶の景観や文化を将来に渡し、維持、継承、発展させていくためには、地域の力や魅力を引き出す新たな対策が必要である。							
プロジェクトの目的及び概要	<p>やわた流れ橋交流プラザ「四季彩館」を核に、石清水八幡宮から松花堂・円福寺を結ぶ東高野街道沿いを戦略的な交流拠点として整備する。やわた流れ橋交流プラザ「四季彩館」は、木津川流れ橋を含め河川敷に広がる茶畑景観のビューポイントで、年間10万人の来場者がある。また、木津川サイクリングロードのほぼ中間点に位置し、サイクリストのオアシスとなっている。</p> <p>さらに、石清水八幡宮から南へ延びる東高野街道沿いには、お茶に関わる施設を含め、歴史的な観光資源が点在する。これらを活かし、地域の活性化を図る。</p>							
	総事業費（千円）	5,722	本年度事業費（千円）	5,722	交付金額（千円）	2,207		
プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	「茶いくるライン」の宿泊施設、やわた流れ橋交流プラザ「四季彩館」充実事業	交付対象事業	「茶いくるライン」の宿泊施設、やわた流れ橋交流プラザ「四季彩館」の整備、強化。			浴場改修等、冷蔵庫、冷凍庫整備		
	「お茶の京都」八幡市マスタープランの戦略的施設、松花堂庭園・美術館魅力充実事業	交付対象事業	「お茶の京都」八幡市マスタープランの戦略的施設、松花堂庭園・美術館の施設整備・強化。			雨水湧水水槽ポンプ改修、食の交流棟厨房備品購入等		
住民 協働 事業								
住民が 取り組む 事業								
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	やわた流れ橋交流プラザ利用者数 97,000人		成果指標の実績値 (29年4月1日時点)		109,979人		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標より利用者数大幅増のため				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)			(時期)		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：八幡市

成果指標 ②	成果指標の目標数値	松花堂庭園・美術館利用者数 33,000人		成果指標の実績値 (29年4月1日時点)	38,273人	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	目標より利用者数大幅増のため		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果 を記載すること	平成29年のお茶の京都ターゲットイヤーに向け、八幡の「四季彩館」、「松花堂庭園」の知名度をあげるため、施設を改修し、お茶の京都、八幡を発信してきた ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。					
本プロジェクトに 対する自己評価	関連事業との連携効果					
	府と市町村等との連携に資する成果	平成29年のお茶の京都ターゲットイヤーに向け、府や関係市町村と連携できた				
	住民の自治意識を高める成果					
	リーディング・モデル成果	「お茶の京都」八幡市マスタープランの戦略拠点を重点的に整備することは、地域活性化のリーディング・モデルである。				
	広域的波及成果	サイクリストのオアシスともなっている「四季彩館」を充実することで、八幡のまちの魅力を市外にまで発信できた				
	行財政改革に資する成果					
	その他の成果					

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：八幡市
